

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは、御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」

(ヨハネの福音書3章16節)

## クリスマスと私の関係

12月25日に、長野集会では「クリスマスの夕べ」が行われました。長野集会にとって、クリスマスの日に集まり、この日の意味を覚え、感謝することは最も大事にしていることの一つです。そして、多くの方々に知っていただきたい、という思いで毎年この日を大切にしています。いや、多くの教会で12月25日は大切にされ、この日にクリスマスの催しが行われたことと思います。ただ単にクリスマスだから集まるとか、毎年行っているから行うとか、ではありません。このクリスマスの本当の意味を知っているからこそ、みんなで覚える必要があり、みんなで感謝する意味があると信じています。

さて、この日に語られたクリスマスメッセージをもう一度味わい、クリスマス（イエス・キリスト）と私にはどんな関係があるのか、を一緒に考えてみたいと思います。以下、2019年12月25日に語られたメッセージの内容の抜粋です。

ご一読されている方々、全ての方々に神様からの恵みがありますように。(M)

家臣は主君のために死にます。しかし、家臣のために死んだ主君はいません。神はこの人間の世界では見られないことをして下さった王である方が、造られた人間に過ぎない私たち罪人のために、死んだ下さったというのです。『心のチキンスープ』という30年ほど前、アメリカで非常に評判を呼んで十数冊ぐらいシリーズになった本があります。累計8,700万部ほど売れた本の中で、私が心に残った一つの詩があります。『無料』という詩です。

うちの小さな息子が、ある晩キッチンで夕食の支度をしている私の妻のそばに来て、何か書いたものを渡した。妻はエプロンで手を拭いてからそれを読んだ。

芝を刈った代金 5ドル  
自分の部屋を掃除した代金 1ドル  
お遣いに行った代金 50セント  
ママが出かけた時、弟の面倒を見た代金 25セント  
生ごみを外に出した代金 1ドル  
いい点を取った 5ドル  
庭を掃除した 2ドル  
  
合計 14ドル75セント



妻は返事を待って立っている息子の顔を見た。様々な思いが、妻の脳裏を横切っているようだった。すると、妻がペンをとり、その紙の裏にこう書いた。

10か月間、私の中であなたが育つのを待って運んで回ったのは 無料  
幾夜も寝ずの看病をし、治るのを祈ったのは 無料  
この歳月、あなたのために辛い思いをし、涙を流したのは 無料  
すべてを足してみても私の愛の値段は、無料よ  
恐れて眠れなかった夜も、味わうと分かっていた心配事も 無料  
おもちゃも、食べ物も、着る物も、あなたの鼻をかんであげたのも 無料  
それを全部足しても本当の愛の値段は、無料よ

読み終えた息子の目に、久しぶりに大粒の涙が浮かんでいた。彼はまっすぐ母親の目を見つめると、こう言った。「ママ、僕、ママが大好き。」そう言ってペンをとると、大きな字で彼はこう書いた。

### 全額支払済み

皆さん、イエス・キリストは、あの十字架の上で、全額私たちの罪を帳消しにして下さるために来てくださったのです。もうその財源は振り込まれました。あとは、皆さんがそれを受け取られるだけです。それを皆さんが、受け取られる時に、罪の赦しを受け取られる時に、皆さんは心の中にクリスマスを本当の意味で経験されると、私は思っています。

